

# あがまち

## 議会だより



みんなえがおで ガンバレガンバレ

### 主な内容

新議長就任あいさつ、議会構成	2P
補正予算の請願、陳情	3P
決算の認定	4～5P
委員会報告	6～7P
一般質問	8～16P
町民の広場	17P
自治功労、広報研修、編集後記	18P

※再生紙を使用しています。

No.22  
2010.11

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地  
発行責任者：議長 齋藤秀雄

## 自治功労者賞

### おめでとうございませう。

この度、地方自治の振興発展に貢献された功績に対して、新潟県町村議会議長会より表彰状が授与されました。

今後一層のご活躍を祈念いたします。

- 宮澤 勝見 議員（在職20年）
- 伊藤 武一 議員（在職10年）
- 星 公司 議員（在職10年）
- 齋藤 秀雄 議員（在職10年）



星 公司 議員



宮澤 勝見 議員



齋藤 秀雄 議員



伊藤 武一 議員

## 広報対策 特別委員会報告

委員長 星 公司

### ○全国町村議会議長会広報研修

#### ○調査概要

- 1) わかりやすい文章表現・表記
- 2) 読まれる広報誌のつくり方
- 3) ネットPR発想で考える（自治体ホームページの活用方法）
- 4) 広報クリニク

### 議会の傍聴を!!

町が直面する課題をぜひ、一度傍聴で！気軽に、議場へ足を運んでみて下さい。

### ○まとめ

議会運営や活動内容を町民に周知する、広報誌の使用には非常に重いものがあります。

限りあるページ数、文章や写真、レイアウトなどの編集にあたっての苦労については、大なり小なり各町村の広報委員には共有していると思われる、今回の研修は親しまれる紙面とするに大きな糧となりました。

また、より一層の研さんを重ね、その責務を果たしていきたいと思えます。

### 訂正とお詫び

No.21号で掲載した記事のなかで誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

8ページ 写真説明  
誤（岡沢）↓正（田沢）  
15ページ 平和への誓い  
誤（近い）↓正（誓い）

### 編集室より

残暑もなく急に秋めいて来た今日この頃です。

今夏の日本の平均気温は気象庁が統計を開始した明治31年以降の113年間で最も高くなりました。最高気温で35度以上となる猛暑日が熊谷などでは31日と最も長くなったそうです。

また今夏の猛暑は、社会的にも非常に大きな影響を与え、特に多くのかたが熱中症の被害にあわれました。高齢者の多い町でも熱中症対策に十分取り組み、安心な町づくりをしたいものです。

（入倉）

### 広報対策特別委員会

- 委員長 星 公司
- 副委員長 渡 部 英 夫
- 委員 猪 俣 誠 一
- 委員 佐 久 間 勇 夫
- 委員 入 倉 政 盛
- 委員 小 池 隆 晴



議長 齋藤 秀雄

錦秋の候、町民の皆様には、いかがお過ごしですか。日頃、町議会に対し町民各位からのご協力に感謝申し上げます。

去る、9月29日不肖私が議長に就任し、この重責を担うことになり身の引き締まる思いであります。

町民から寄せられる期待を強く感じ責務の重大さを痛感しているところです。

合併して五年が過ぎ、議会の真価が問われていると思います。議会はいま何をすべきか町民から寄せられる期待を切に感じているところです。私どもは今開かれた議会として改革の議論をしているところです。人にやさしく、心のかような政治、町民の声を伝える議会を目指し、議会改革に邁進していきます。

議員同士が多くの議論を重ね、政策提案のできる議会にすること。町民との対話集会の開催をすること。議員の研修・研さんを重ねること。地域の融和を図ること。以上のことを基本として議会改革に取り組んでまいります。

いま、阿賀町を取り巻く経済状況はたいへん厳しい現状です。町民の皆様が笑顔で過ごせるため、福祉の向上・医療の充実、産業育成など、多くの課題を抱えています。

議会は行政に対し町民サイドに立った議論を重ね行政執行させていく所存です。議員一同町民の負託に応える努力を重ねていきますのでさらなるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

9月臨時議会

新議長に齋藤秀雄氏

9月21日に遠藤信也議長より辞職の願が提出され、同日29日臨時議会において、辞職が承認されました。その後新議長選出の選挙が行われ、投票により新議長に齋藤秀雄氏が選出されました。

議長 齋藤 秀雄

昭和27年7月27日生

新委員会の構成

- ・ 社会厚生常任委員会委員長 石田守家
- ・ 社会厚生副委員長 山口周一
- ・ 議会運営委員 石田守家

一部事務組合

- ・ さくら福祉保健事務組合
- 議会議員 石田守家

9月補正予算

総額127億3511万7千円
追加4億1803万4千円

平成22年度第3回定例会が9月7日に召集され16日までの10日間の会期で開催された。今定例会に提出された議案17件、請願1件陳情1件は原案どおり承認、可決された。

歳出の主なもの

一般会計補正

○総務費 5621万1千円

・ エネルギー使用状況届出作成業務委託
・ 情報ネットワーク管理費
・ 木質バイオマス推進事業

○民生費 1030万5千円

・ 空気清浄機購入費(全保育所)
・ 一般廃棄物処理基本計画作定業務委託料等

○衛生費 1583万5千円

○農林水産業費 3290万1千円

・ 県単農業農村整備事業
・ 森林整備加速化、林業再生基金事業等

○商工費 709万6千円

緊急保証制度融資保証料助成

○土木費 2507万9千円

・ 上川温泉施設管理費等
・ 町道維持補修工事
・ 消雪施設改良工事

○教育費 1447万3千円

・ 郡史編さん事業
・ 文化財保護保存事業
○災害復旧費 3157万4千円(6月27~28日豪雨災)

・ 林道施設災害復旧工事
・ 道路災害復旧工事

○公債費 2億2456万円

・ 町債繰上償還元金

特別会計補正

○国民健康保険 55万1千円

○老人保健 114万2千円

○介護保険(保険勘定) 4095万7千円

○診療所 104万9千円

○簡易水道 2123万円

○下水道事業 597万5千円

○町営スキー場事業 123万9千円

建設工事請負契約の変更

・ 白崎地区簡易水道施設整備事業白崎配水池等築造工事

・ 契約額 9551万6千円

・ 400円(増額1277万6千400円)

・ 契約者(株)水倉組阿賀営業所長 石田雄大

町道路線の変更

・ 西中村下線(西地区)
・ マコノ浦3号線(九島地区)

条例の一部改正

・ 職員の育児休業等に関する条例

・ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例

過疎地域自立促進計画

・ 当町の基本理念である「豊かな自然・かがやく文化みんなで築く安心のまち」の実現を目指し、過疎地域の自立を促進していく。

8月臨時議会

全議案可決 承認

○財産の取得について

・ ローター除雪車(津川)
・ ローター除雪車(鹿瀬)

・ 小型動力ポンプ付消防積載車1台

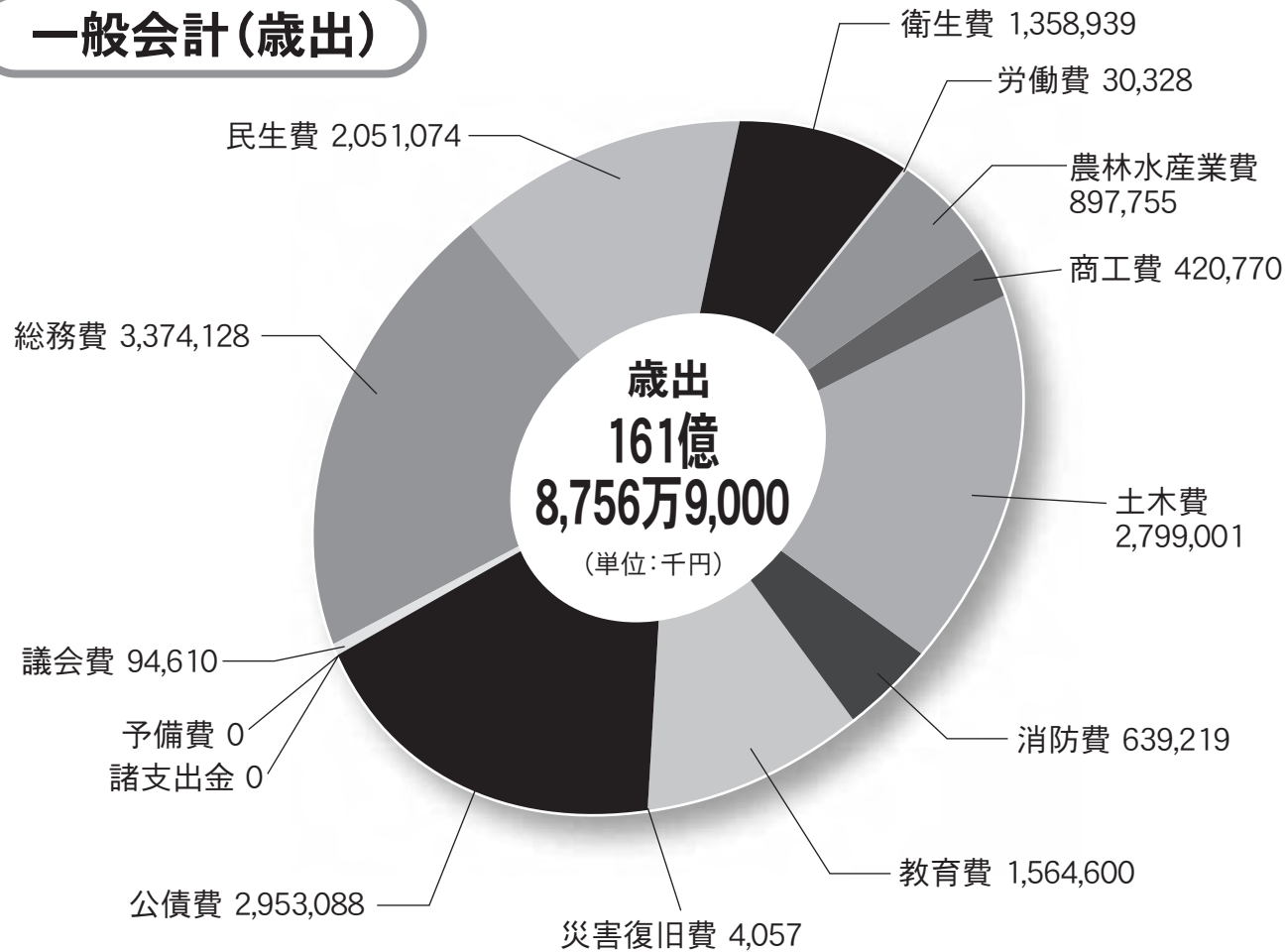
・ 小型動力ポンプ付消防積載軽自動車2台

○阿賀町農業委員の推薦

・ 加藤ミネ子(黒岩)
・ 杉崎三代子(平堀)

# 平成21年度9月定例会一般会計 & 特別会計 決算を認定

## 一般会計(歳出)



## 特別会計

	歳入	歳出	繰越財源	実質収支
国民健康保険	18億5,065万円	18億3,922万円	0	1,143万円
後期高齢者	1億7,250万円	1億7,191万円	0	59万円
老人保健	837万円	612万円	0	225万円
介護保険(保険)	19億39万円	18億5,735万円	0	4,304万円
介護保険(サービス)	1,502万円	1,502万円	0	0
診療所	3億2,981万円	3億1,056万円	0	1,925万円
簡易水道	9億1,661万円	8億6,748万円	4,878万円	35万円
下水道事業	12億9,918万円	12億5,605万円	4,278万円	35万円
町営スキー場	9,662万円	9,656万円	0	6万円

水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	1億3,826万円	2億1,579万円
資本的収支	8,346万円	1億2,494万円

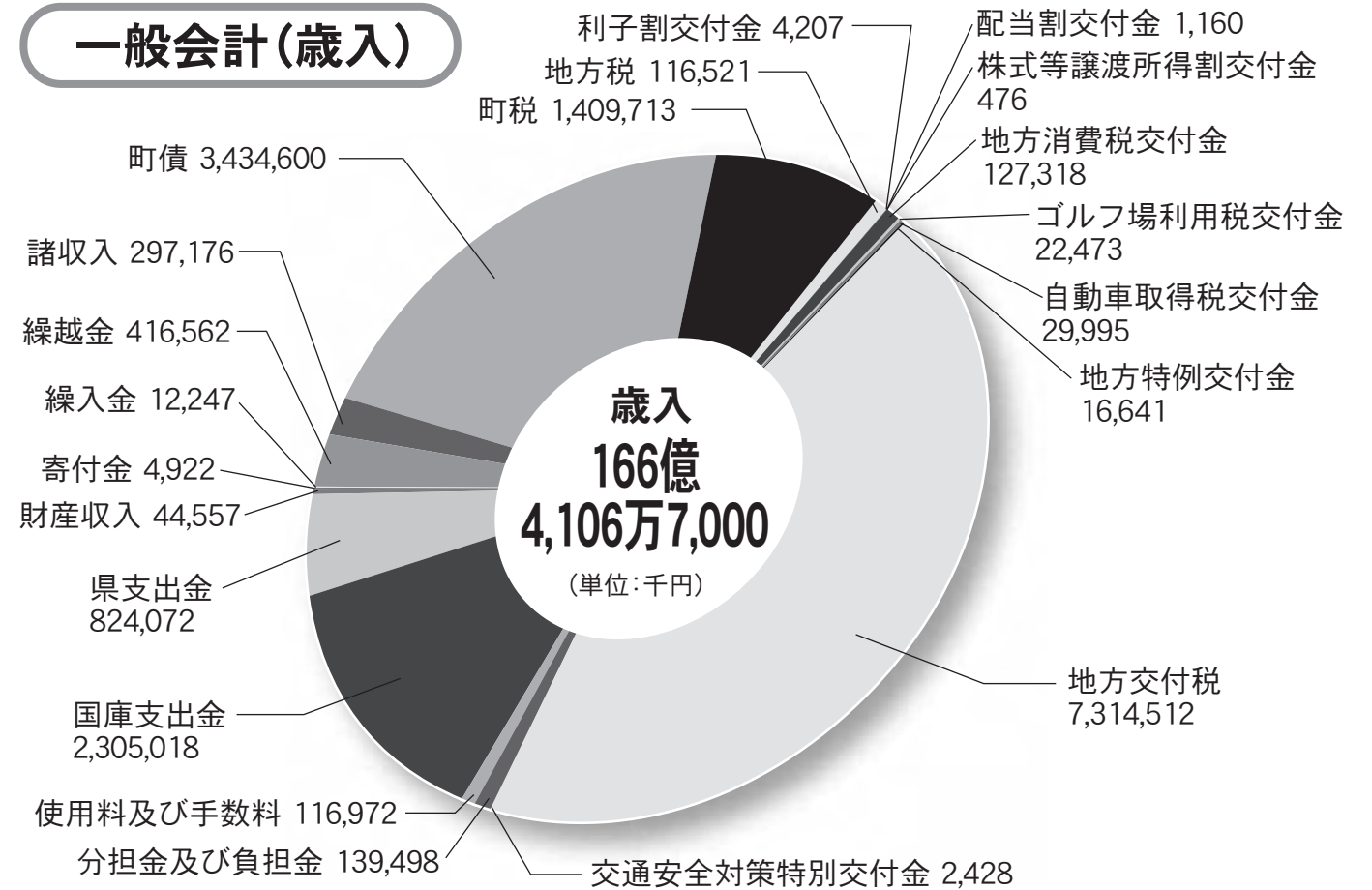
## 決算審査特別委員会審査報告書

決算審査特別委員会  
委員長 石川太一

9月定例会が9月7日(火)召集され2009年度一般会計決算を認定。5議案を可決。請願、陳情各1件ずつあり原案の通り可決された。なお、21年度各決算に関しては、審査特別委員会に付され、全会一致で認定された。

本委員会は、9月9日、10日、13日、14日、および15日の5日間に渡り慎重に審査した結果、原案のとおり認定すべきものと決定した。  
なお、各課の審査においては、事務事業の執行にあたり地域住民の意見、要望を十分踏まえ、より効果的な施策の実施となるよう要望したほか、歳入確保への更なる努力を要請したところである。

## 一般会計(歳入)



区分	歳入	歳出	形式収支	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
平成20年度	16,641,067	16,187,569	453,498	41,799	411,699
平成21年度	14,323,449	13,906,887	416,562	61,507	355,055

## 阿賀町健全化判断比率

健全化判断比率	平成21年度	早期健全化基準	備考
①実質赤字比率	— (%)	13.53 (%)	
②連結実質赤字比率	—	18.53	
③実質公債費比率	19.8	25.0	
④将来負担比率	203.2	350.0	

### 産業建設

委員長 伊藤 武 一



たきがしら湿原の木道

#### 深戸ワラビ園場状況

1,700万円投資の補助事業だが、遊休農地状態であり、環境整備事業として耕作放棄地の解消を目的に取り組んだが、目的達成には程遠く対応を強く申し入れた。

#### ハーバルパーク管理状況

本年度、雇用特別基金を導入して民間企業へ管理委託した。今後、町の観光拠点となる。創意工夫を期待。

#### たきがしら湿原木道整備事業

自然環境、景観、生態系における重要な施設。バリアフリー改修により高齢者、障害者の散策が可能となり、より多くの観光誘客に期待する。

#### 滝頭谷地線改良事業

学習の森、ふれあいの森、銘木の森等、滝頭周辺を結ぶ林道の継続的維持管理を希望する。

#### 栗瀬地区簡易水道整備事業

膜処理能力の向上や安定供給を図るための事業であり、早期着工が必要である。

#### 町道マコノ浦3号線

地権者の同意もあるとの説明がありました。

### 遊休施設の管理について

①町有施設の中の経年劣化による遊休状態の施設について、解体も含め、廃止について検討した。結果、20施設は解体。売却等の処分4施設。管理継続は54施設。再活用は6施設とした。また各開放した学校については、地域の要望も考慮し、全庁的立場で有効利用の検討を進めて欲しい。

②旧上川中学校を利用した資料館については整備が進められており、内装が終り、10月暫定オープンに向けて着々準備が進められている。町民に利用していただくため、図書館の併設や体験教室、他の研究団体の受け入れ等、多目的活用を望む。

③三郷小と西川小の大規模改修工事は順調に進められ、夏休み中に終了の予定。一部屋上工事が二学期に入りますが、児童等の安全対策に万全を期すよう望みます。

### 総務文教

委員長 石川 太 一



郷土資料館となる(旧上川中)

### 蔵王町議会の取り組み

- ・「通年議会」の制度化
- ・「議会基本条例」の制定
- ・議会報告会等

### 研修報告

- ・「通年議会」の実施により、議会や委員会調査の災害時等での即応性や、チェック機能が充実・強化され、議会機能が活性化されている。
- ・「議会基本条例」の制定により、委員会調査時の町民参加や町民との連携を図ることにより町民の議会に対する関心が高まった。
- ・議会報告会を年2回開催。1回5日間3班で15回。

### 研修結果

当町においても、議会の即応性や町民の意見が十分反映できる議会を目指し、現在取り組んでいる「議会基本条例」の制定や、「通年議会」の実施に向け、誠心誠意取り組んでゆかねばならない。

### 議会運営

委員長 猪俣 誠 一

山形県蔵王町



研修および意見交換

### 社会厚生

委員長 斎藤 秀 雄



工事進む地域活動支援センター(後地区)

### 管内研修

- ・地域活動支援センター建設工事では、安全施工と地域雇用を考慮すること。
- ・あがの作業所では、仕事量確保、商品開発販売に協力すること。
- ・統合保育所については、理解を深める努力をすることや用地確保を知ること。
- ・斎場については、利用方法や受け入れ時間の変更を検討することを要望した。
- ・福祉健康増進プランについては、「いきいき元気プラン」の周知をすること
- ・子育て支援策、うつ病対策、自殺予防対策、高齢化対策等々、福祉保険業務は「阿賀町」の最重要課題であり、担当する職員、保健師介護支援員等は、業務が多忙化する現状から早急に検討する課題として取り組むことにした。



石田守家 議員

### 猿の農作物被害に対策を

#### 被害状況と町助成の拡大を

質問

毎年同じ繰り返し返しの猿等による農作物被害について、猟友会の巡回、電柵、ネット、花火そして最近では狼の尿などで農家は対応しています。

本年度の被害状況はどうか、積極的な町の姿勢が見えないようです。猟銃の所持、出動手間や費用の自己負担が多い。動物愛護団体自然との共生、駆除対策は困難だが町職員も含めた猟銃所持者の増員、全面援助の緊急体制が必要です。

山間地域の生活基盤、地域人口が大幅に減少する中、猿団の増加は数倍です。目先だけの対応策は限界緊急な猿等の駆除策、町助成の拡大に積極的な神田町長の答弁を求めます。

#### 対策に効果的手段見えない

町長

猿知恵との知恵比べは、全国的で決定的対策は見えない。現在までの被害状況はパトロール要請24地区、1.7ha、138万円で実際の被害はこれを上回るものと思います。

また、被害防止策としてネット等の購入補助は47万円程です。緊急雇用対策事業によるパトロール員2名出動一回3,000円、捕獲一頭5,000円です。

なお、現在の猟友会の状況は、会員74名です。

猟銃所持の援助は個人資格であり、年間の維持費を含めあくまでも個人とすること考えています。

21年度は猿154頭、熊6頭、カワウ23羽で、そのほかに緊急雇用者2名で猿80頭の駆除があったとのこと。皆さんからいろいろ情報

#### 出動費用の取り扱いが適切か

再質問

猟銃所持者増員等の援助はできないとのこと、出動1回3,000円の申告を持って取扱っている、不適切な出費取扱いはないか。

町長

出動体制は迅速に、また手続きが複雑とのこと

提供を頂き今後対応して参ります。

#### 猟友会員の出動再度伺う

再質問

再度確認するが出動1回3,000円の手続きに不備があると思うが。

町長

異論がないと思うが、ご指摘の点は十分調査し努めさせたいと思います。



敷設された電柵



宮川弘懿 議員

### 町政を質す

#### ガンによる死亡率県下一

質問

悪性新生物による死亡率が、県内1番となっており、その実態は。

町長

平成20年では、死亡者235名中、74名、平成19年度は総死亡者中71名でした。

質問

原因は、複合的であり、生活習慣病とも言われており、食生活に関係していると思われ。

その対策として早期発見が、一番重要と思えます。町としての対策は。

町長

ガンで亡くなる方には、受診さえ受けない方もおられます。早期発見のためにも受診率向上に努めます。

#### 公立図書館等による貸し出し冊数県下最下位

質問

公立図書館、公民館図書

#### 対策に効果的手段見えない

町長

猿知恵との知恵比べは、全国的で決定的対策は見えない。現在までの被害状況はパトロール要請24地区、1.7ha、138万円で実際の被害はこれを上回るものと思います。

また、被害防止策としてネット等の購入補助は47万円程です。緊急雇用対策事業によるパトロール員2名出動一回3,000円、捕獲一頭5,000円です。

なお、現在の猟友会の状況は、会員74名です。

猟銃所持の援助は個人資格であり、年間の維持費を含めあくまでも個人とすること考えています。

21年度は猿154頭、熊6頭、カワウ23羽で、そのほかに緊急雇用者2名で猿80頭の駆除があったとのこと。皆さんからいろいろ情報



入込数52万人の阿賀の里

室の貸し出し冊数が、一人当たり0.44冊です。県の平均が4.13冊。蔵書数が少ないことが、決定的原因でないか。

図書館の現代的意義は、図書に関連した、集いの場としての役割を与えられているのではないか。

町長

テレビ電話を通じて、蔵

#### 出動費用の取り扱いが適切か

再質問

猟銃所持者増員等の援助はできないとのこと、出動1回3,000円の申告を持って取扱っている、不適切な出費取扱いはないか。

町長

出動体制は迅速に、また手続きが複雑とのこと

提供を頂き今後対応して参ります。

#### 猟友会員の出動再度伺う

再質問

再度確認するが出動1回3,000円の手続きに不備があると思うが。

町長

異論がないと思うが、ご指摘の点は十分調査し努めさせたいと思います。

#### 観光客の入込数

質問

その入込み数が、168万人で県下15番です。阿賀の里が約52万人、奥阿賀観

光で約19万人、上川温泉で約11万人、ホテル三川で約9万人、合計約91万人です。その特徴は、何だと思えますか。

町長

阿賀野川沿川は、道の駅として位置づけられている阿賀の里、阿賀野川ラインの舟下りとして、観光客から認知されております。

温泉は町内8カ所に点在する異なる泉質と豊かな自然と、阿賀野川ライン沿いにある立地条件が、多くの観光客が訪れる要件となっていると思えます。

質問

第3セクター等は、売り上げ収益や雇用の場としての経済効果をもたらす重要な町の資産です。健全な経営のもとに持続可能な施設にする必要があります。

町長

第3セクターについて、その意義を町民の皆様から十分理解していただくよう努めてまいります。



猪俣 誠一 議員

# 行政はもっと町民に溶け込め！

**質問**

合併して5力年が経過したが、町民からは「行政の動きや姿勢がまったく見えない」という声が多い。情報ネットの有効性を否定するわけではないが、紙面や告知端末など、無機質なものを媒体としての告知だけでは、町民には行政の熱意や温かさは伝わらない。

町長や職員は、広く町民と接し、直接声を聞くことが重要である。それにより町民の意思が反映できる行政運営を行うことが出来る。町政報告や意見聴取を、旧町村の単位で行っても20日もあれば足りる。

**限界集落で  
懇談を継続**

**町長** 就任以来、広く意見を聞いて、施策を進めてきた。普段の集まりのなかで、目的を持って対峙し、効果を挙げるよう取り組んでゆく。限界集落の実態調査は、

職員を派遣し、懇談を継続的に実施している。各地域での意見聴取の場も積極的に設けて行きたい。

物事の解決は、対面で話をし、解決に繋がる事が実現し、十分念頭に置き、職員に認識してもらう。

**意見・要望への  
対応は適切に**

**質問**

行政の企画運営等に当り、福祉・教育・産業の各関連団体との意見交換や懇談は行われていると思いが、協議の意見や要望が十分に行政に反映されていない。要望に対



集落での懇談会(雲和田地区実態調査)

し「予算がない、法的に活用ができない」と言われたという話をよく耳にするが町民の意見・要望に関しては「出来ない」ではなく、どうしたら「出来る」のかを思考し、住民のために働くことが行政の責務である。

**行政は  
町民あってこそ**

**町長**

「予算がない」等と言わないように常々言ってきた。必要、緊急性あるいは財源、バランス、実施方法等を、要望された方々に理解いただける説明をし、解決する方法を検討するという事で指導している。

**再質問**

経済状態が極めて深刻であり、町の危機管理の必要性を感じている。公正・透明性を保持したうえで、町民や町内事業者優先の対策があっても良い。

**町長**

出来る限りの対応、行動を取れるような、体制づくりに努める。



# これでいいのか 第3セクター運営



清田 輝子 議員

**無駄をはぶく!!**

**質問**

6月に各第3セクターから決算の説明を受けました。以前から、3セクに対しての運営には疑問を持っていました。税の優遇を受けているにもかかわらず赤字運営が行われている。今回奥阿賀観光について伺います。常に赤字である奥阿賀観光は、売り上げが落ちていくにもかかわらず、平成21年度決算において1、400万円の純利益が出ました。黒字になった最大の理由は補助金の補填と経費の削減(施設管理費、燃料費等)。これほどの削減ができるのに、今までは無駄な使い方があったと疑いざるを得ない。平成22年度は、どのような行政指導を行うのか伺います。



赤湯

**新たな企画・  
誘客を!!**

**町長**

奥阿賀観光の平成21年度決算の状況について、7月12、13日の両日においての全員協議会で議員の皆さんから、ご審議をいただく中で、ご指導、ご提言、お叱りを受けました。

運営にあたりましては、各3セクとも危機意識をもつて売り上げの向上に努め、また、経費削減に力を入れ

**運営改善が必要!!**

**質問**

売り上げというのは、食堂部門、宿泊施設、温泉施設からの利益が売り上げです。奥阿賀観光には認識していただきたい。常に補助金をあてにしなければならぬ運営は改善しながら努力をしていただきたい。

**強く指導していく!!**

**町長**

本来の運営のあり方によって経営が成り立つように努力するよう会社側に承知してもらい、強く申し入れを指導して行きたい。

※津川温泉の経営状況は非常に改善され努力の成果が見られます。



赤崎庄



五十嵐 隆 朗 議員

### 「危機管理」は大丈夫か

#### 避難訓練をなぜしないのか

**質問** 最近、危機管理の問題、必要性がさまざまな視点から強く指摘されています。地震を初め、風、水、雪害等の自然災害を見るにつけ危機管理はますます重要な課題になっていきます。そこで伺います。平成20年にハザードマップをつくり、全戸に配付し、危険度を事前に知ってもらおうと手だてを講じましたが、なぜ町は避難訓練をしないのですか。

**町長** 全戸に配付させていただいたわけで、ある意味、確認をさせていただいたものと思っておりますので、行政と地域住民が一体となった防災訓練のあり方について検討を重ねています。

**質問** 危険の周知、警戒態勢の整備、開発行為の制限等の対策は。

#### 平素の準備を啓発

**町長** 『わが家の防災計画』を同時に配付しております。災害時及び災害時を想定し

た平素の準備等の対応について、啓発しています。ホームページでもさらに周知を徹底しているところです。

#### 十分必要です

**町長** 年々とは申しませんが、事情が変わってきている、耐震性等も十分考えた上でもう一度見直し、変更というものも含めながら、対応していく必要があると思っております。

**質問** 町の防災グッズの確認はしていますか。



七名地区における土砂崩壊

#### 町民生活課長

毛布、車いす、移動担架等を配備しております。日赤の補助事業によりまして数を毎年ふやしていきたいと考えています。

#### 職員の役割分担組織は、すぐ機能できますか

**質問** 災害発生時の、対策本部で行うことを想定した職員向けの災害マニュアルは、すぐ機能できますか。

#### 機能する

**町長** 庁内における、防災訓練は、年に一回実施して、それぞれの役割を発揮しているもので、機能すると思っております。

#### 机上の対策だけではないか

**質問** 防災対策を町は、さまざま計画をしていますが、机上のサービズレベルだけが先行して、対策を住民に教える立場と、受ける立場と差が開き過ぎていて、新たな問題が生じませんか。

**町長** おっしゃるとおりであり



公園(常浪川下流)の水害

#### 訓練は減災につながる

**質問** 訓練することによって防災ではなくて、減災になると思えます。ぜひ、自然災害対策を含めた危機管理能力全般の向上を図っていただきたいと思えます。

**町長** 例えば、飲料水、食糧関係についても、町内の企業の方々との提携もしており町民に全部周知してもらい危機管理の向上にさらに一層努めたいと思っております。



入 倉 政 盛 議員

### 就学援助は、準要保護児童・生徒にまで拡充を

#### 就学援助制度の拡充を

**質問** 文科省及び新潟県教委は新3項目については「要保護児童生徒」のみならず「準要保護児童生徒」も支給対象になるとしています。

そこで、町では「新3項目」について予算化されているのでしょうか、また予算化されていなければ次の3点について実施を要望します。  
1・就学援助を申請した全ての児童生徒に対して4月にさかのぼって3項目について支給すること。  
2・そのためには、予備費あるいは補正予算を計上すること。  
3・支給項目が増えたことを全ての保護者に周知すること。以上です。

#### 町長

本町におきましては、要保護児童・生徒の就学援助は追加費も含めて、生活保護の教育扶助費から支給されています。

町は、平成17年度に準用保護児童・生徒就学援助費支給要綱を制定し、近隣市町村と歩調を合わせた中で

#### 新潟水俣病全被害者救済を

**質問** 水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法が成立し、阿賀町でも水俣病被害者の救済に係る地域説明会が5月と6月に行われました。

現在、水俣病問題の全面解決のため、10月中旬に基本合意をめざして協議中です。つきまして、次の質問と要求を求めます。  
1・町の最新の「特措法申請件数」と「新規の件数」を明らかにしてください。  
2・偏見差別等で未だ手を上げられない多数の潜在被害者の存在が推測できる状況で各市町村が県と共同してどのような「広報活動」をやつて来たのか、また「あたら限りの被害者が申請」(環境省)



雨の中の門前集会

**町長** 町では孤独死されている方がおられますが、町としてどのような安否確認などの対策をとられているのか。

**町長** 67人の民生委員の活動、配食サービス、訪問理美容事業、消防署・団員による訪問、訪問看護・介護等地域と行政が連携を深め、安心・安全な町づくりに務めます。

#### 一人暮らしの命を守る



小池隆晴 議員

## 合併の検証&危機管理体制

### 行政運営の効率化は図られたか？

・人件費の削減は？  
 町長 合併当初の職員数417名、本年4月1日現在358名で59名の減員。  
 ・専門職は増えたか？  
 町長 消防士員は緊急体制の充実に図るため65名と増員、保健士・看護師は合併当初より6名増。  
 ・窓口サービスの利便性は？  
 町長 正面玄関に総合案内所を設け職員を常駐。  
 ・求める専門職は？  
 町長 若千の保健士、建築・土木関係技術者の採用を予定している。

限後を見据えた予算のあり方や執行配分も含めて大胆な行政改革を実施。  
 ・今後の目標は？  
 町長 人口規模、類似団体との比較からすればかなり突出している財政状況にあるからそういうものを目標にしながらか対応する。

### 合併により利便性は？

・山間地域&高齢社会の備えについては？  
 町長 職員と集落の皆さんとの懇談を継続、移動手段、雪みちの維持等が課題。スクールバスを福祉バスとして活用、新たな運行通路バスも、旧町村ごとに町営診療所を置き、集落ごとの雪対策計画の策定にも着手。  
 ・子育て支援に関しては？  
 町長 乳児保育や早朝・延長保育の相談が出来る体制、お

### 町の財政は？

町長 国の定めた早期健全化基準を下回っている。特例期

よび情報交換の場、公園などを必要と判断、後期計画に反映させた。  
 ・公共施設の適正配置は？  
 町長 小・中学校、保育園は関係者の協議を経て統合が済んだ。後期計画に於いては保育園、消防施設等の整備が必要と判断して計上。  
 ・過疎地での格差が開くような感じがしますが？  
 町長 財政・財源配分が違っていると思っています。



TV電話は危機管理の担い手になれますか？

・団塊世代の高齢化、新たな施設は？  
 町長 在宅系サービスを充実させ、介護保険料に余り影響しない対策に取り組む。

### 危機管理体制は

町長 想定される災害と体制は？  
 町長 町内に震度4を観測した場合、総務課等の職員が登庁、第1次体制として、情報の収集、関係機関との連絡調整を、また風水害等の災害が発生したときや震度6以上の揺れを観測した場合、第3次体制として災害対策本部を設置。  
 ・行政担当者は何年で交代か？  
 町長 3年位は最低。



渡部英夫 議員

## 1 中山間地域等支払い制度第3期対策について 2 児童生徒の携帯電話の利用と学校の指導について

### 中山間地域等支払い制度第3期対策について

町長 当町における中山間地域等支払制度は本年度から第3期対策がスタートしたが第2期対策期間中の交付金額と対象面積について伺います。

### 質問

町長 本町の中山間地直接支払い事業の第2期対策では、耕作条件の不利な中山間地域における耕作放棄地の防止、多面的機能の確保を図ることを目的に、対象44集落、急傾斜水田149ha、緩傾斜水田126ha、合計275haで実施され、平成17年度から21年度までの直接交付支払総額は1億9,777万円でした。

### 質問

町長 本年度から新たにスタートした第3期対策の主な改正点は何か。この制度のみで諸課題が解決できると思いませんが、当町の農業

にとつて重要な課題の一つであると思います。改正条項等を対象農家に正確に伝えることができたのでしょうか。

### 町長

第3期対策のポイントは第2期対策を基本に高齢化の進行に配慮した仕組みに見直され、いわゆる集団サポート型の新設や協定に取り組み場合の加算措置、山あいと点在する飛び地や小さな団地等も協定に取り込めるよう見直された。

第3期対策については新潟県と共催で事業説明会を開催し、現在は対象集落と対象農地の確認、確定作業を行い確認が済んだ集落から、順次集落協定の内容について説明し、集落協定の締結に向け作業を進めています。過疎化、高齢化の進む集落と農地を守るためには、直接支払制度だけで解決できるのではなく、町としても担い手の育成を基本に、JA新潟みらい、農



中山間直接支払い制度による共同作業(用水路改修)

### 児童生徒の携帯電話の利用と学校の指導について

### 質問

町長 学校統合等により遠距離通学が多くなり、部活動などの関係で保護者への連絡のため携帯電話が必需品となっていることは止むをえないものと思います。社会現象として有害サイトへのアクセスや有害メールなど

親の不安が増しており、メール利用頻度と就寝時間の関係も都会では問題化しています。これら心配ごとに対し町および学校はどのような指導をされているのでしょうか。

### 町長

携帯電話の所持率は、小学校で7・4%、中学校で27・4%となっている。中学校の利用実態については生徒が習い事や部活動などで保護者への連絡用として使用するケースが多いようです。携帯電話は便利な反面、操作方法によっては、いじめの要因やトラブル、また、犯罪に巻き込まれる危険も潜んでおり、各学校では携帯電話やパソコンのメリット、デメリットについて、授業や集会などで指導を行っている。また、PTA総会、地区懇談会などの機会を通じて保護者へ呼びかけるとともに、家庭における親子の話し合いや指導をお願いしている。



# ちようみんの ひろば



山のめぐみに感謝  
波田野ミサホさん(相高島)

猛暑にくるしんだ今年の夏かと思えば一カ月足らずでストープのお世話になっています。めまぐるしく移り変わる季節、でも秋、秋の到来です！私の一歩のたのしみ、キノコ狩り、もう何も手につきません。ここ4、5年あまり出ぶりが良くなかったのに、今年、猛暑の後に雨がふったので、イッポンシメジ、椎茸、桜シメジ、アマタケ、何もかもいっぺんにふきだしてします。うれしさに、可愛いキノ

コ達に声をかけながら楽しんでいきます。それにしても、ここ近年山を歩いて思うこと、松食い虫でまるぼうずになった山、紅葉かと思うほどのミズナラの枯れよう、私の愛してやまない山々が変です。クリも、トングリもなってます。これ

マも、サルも、里に出て食べ物さがさなければ、生きていけません。お互いに領域守り共存していく方法があったらいいのに、でもやっぱりクマはこわい、出てくれなければどんなにいいか、自分勝手なことを考えながら…。アケビは小鳥たちに残し、決して欲張らず、山のルールを守り、自然の恵みに感謝しながら楽しませてもらっている今日この頃です。



群生するキノコ



ハーバルパークの出会い  
後藤恒雄さん(後地)

私は阿賀町民として、70代後半に入った。沢山の方々から歴史や文化に教導をいただき、日々の生活をついやしながら感謝している。大変ありがたく思うこの頃です。特に、すばらしく思っていることは、芦沢にあるハーバルパークのハーブに魅せられたことである。津川では素晴らしい、心と年月をつくされた園が見られて感心している。これらは、今春まであられた畔柳さんをはじめ、ポロン

ティアの方々が多大なご協力のたまものであった。特にひめさゆり、ヤマユリ等の花が咲き乱れ、一段と美しさをましているの町民のみなさんから愛され、朝夕のシヨギングコースとして楽しまれている近日である。



ハーバルパーク(管理棟)

## ふるさと納税制度・情報ネット・緊急雇用対策・「阿賀の里」について



齋藤秀雄 議員

### ふるさと納税制度

ふるさと納税を受けておりますが、町職員で町外在住者はふるさと納税制度を利活用してはどうか伺います。住居の自由がありますから職務上問題が生じないように対処する努力が必要に思います。町長の所見を伺います。

### 職員の意志に期待する

町長の 職員の納税意識に期待をし、制度の趣旨啓蒙に努めていきたい。ふるさと納税をされた多くのみなさんには感謝申し上げ有効に使わせて頂くようにしております。

### 緊急雇用対策について

緊急雇用対策で公募された案件で不公平感を感じています。公募条件を明確にし、生活に困窮している人を優先すべきと思いますが方針を伺います。

### 公募条件を明確にする

町長 地域経済対策での公募でありますので、条件が専門的分野などになることもありますので今後は不公平感の生じないよう明示していきたいと思えます。

### 情報ネットの活用を

町長 情報ネットで町のホームページの更新は遅いと指摘があります。体制について伺います。TVシステムの対策についても既存の難視聴区外も対処可能と思えますがいかがお考えか伺います。

### 町民サイドに立って解決を

町長 情報ネットは多くの課題を抱えているので町民サイドに立って解決を模索していきたい。TVシステムについては難視聴対策を優先しましたが区域外にも利用できるよう検討させているところです。



舟つき場(阿賀の里)

### 第3セクター運営は

町長 第3セクター運営については各社とも社員の努力により経営改善は図られたように見えます。

「阿賀の里」は借入残高約7億円、減価償却累計額約5億円です。累積欠損が見えないような決算書類を提出してきております。経営改善をどのようか考えているのかを伺います。

### 原点に帰り努力する

町長 「阿賀の里」の原点は舟下りで、また食と商品販売であります。舟下りの魅力を最大限の武器として努力してまいります。経営改善の

ため役員を2名追加しました。

### 返済原資の確保は

町長 現状の経営内容では、返済原資が確保できないと思えます。また銀行債務処理提示されませんが、議会の約束は町民との約束です。明確に答弁願います。銀行の回答待ちではなく処理方法の提示を協議していくべきではありませんか。

### 銀行とは協議中

町長 処理の方向性は決まっておりますが、銀行サイドの法的問題で協議が継続しているの御理解を願いたい。



川もを快走(舟下り)